

韓国胃癌学会学術集会（KINGCA week）参加助成についてのお知らせ

2025 年 9 月 25 日～27 日に韓国・ソウルで開催される KINGCA week 2025 への参加を助成します。ご希望の方は学会事務局宛に申込書と発表抄録をお送りください。（申請期限 2025 年 8 月 4 日）なお、KINGCA week 2025 での演題応募はすでに締め切られております。

[KINGCA WEEK 2025](#)

韓国の胃癌診療の実情

際立った集約化が進んでいるのが特徴です。ソウル周辺に年間 1,000 例前後の胃癌手術を行う大きな大学病院、あるいは企業の病院が散在しています。その他の地域でも概ね集約化が進んでいるようです。これらの病院では少数の常勤スタッフとフェロー、レジデントによって臓器別の外科診療が行われており、大学病院でも若手は「消化器外科」の医局員になるのではなく、「胃外科」のフェロー、つまり臓器別のグループに応募して採用される形となります。高度な集約化とこのような診療体制ゆえに、各医師の担当手術件数は極めて多くなり、on the job training の機会も際だって豊富なので、腹腔鏡手術、ロボット支援手術などの新しい手技が広がり始めると主な医療機関には急速に浸透します。また、そのためのエビデンス造りに際しても、臨床試験への参加施設間で意思統一を行いやすく、症例集積が極めて急速に進みます。KLASS シリーズが良い例で、年間 1000 例レベルの病院が力を合わせて他国の追従を許さない速度で研究を完遂させているのが実情です。歴史をたどれば開腹手術も腹腔鏡下手術も韓国の外科医がわが国から学んでいた時代がありましたが、このようなインフラが完成して久しい以上、今後優秀な外科医を輩出するポテンシャルは韓国の方が高いとも言えます。日本の外科医が韓国の外科医に胃癌手術の「いろは」を教えていただく必要があるとは思いますが、韓国の一流施設における胃癌診療の現場やハイボリューム診療を可能とするインフラ・教育システムを見学し、様々な議論を交わすことができれば、単なる学会出席では得られないような情報や刺激を得ることができます。また、彼等も日本の外科医からのフィードバックを大いに期待しています。

韓国胃癌学会について

韓国胃癌学会は毎年定期学術集会を開催しますが、KINGCA week という国際学会となっています。つまり、すべての演題発表は英語で行われ、外国人参加者の比率も高く、英語力を鍛える、あるいは英語での発表に慣れるという点ではうってつけです。日本胃癌学会は、胃癌についてしっかりと母国語で議論したいと考える多くの会員の皆様に資する学会であることを重視し、国際的に通用する人材の育成を主目的とした「学会の英語化」からは遠ざかる方針に転換しました。しかし、胃癌の診療や研究における成果を海外に発信したい会員に

は KINGCA week が身近な機会になりますし、特に若い先生方にはそこで国際感覚も磨いていただきたいと考えております。また、国際学会なので普段なかなか会えない海外の有名な方々と直接話ができる貴重な機会となります。

さらに、韓国胃癌学会では KINGCA week に際して施設見学の機会 [Master Class](#) を提供してきました。通常はアニマルラボもついた 1 週間のトレーニングコースとなりますが、アニマルラボを省略し、2025 年 9 月 22 日～24 日あるいは 9 月 29 日～10 月 1 日の 3 日間に凝縮されたショートコースを、日本胃癌学会会員を対象に準備していただきました。こちらにも一度参加されることをお勧めします。

ただし、このような国際学会に多くの高名な外国人を招聘するためには多額の資金を要するので、日本で国際学会を行う場合と同様、通常の国内学会より参加費用が割高になります。

そこで、日本胃癌学会にできること

そこで、日本胃癌学会の会員に KINGCA week で御発表いただくための助成を行います。給付申込書と学会抄録を学会事務局宛にお送りください。国際委員会で選考を行い、選ばれた演題を対象に 5～10 万円の資金援助をいたします。昨年度は 10 名の若手学会員に資金援助をいたしました。

[KINGA WEEK 2024 に参加された先生方の感想記](#) をご参照ください。

本年度も 10 件程度の演題を採択したいと考えております。意欲のある会員の先生方が、本制度を利用して一度は韓国の胃癌診療事情を視察できるようにすることを目標としておりますので、今後も本制度により現地参加が達成できるまで同一会員が反復して応募することも歓迎いたします。

(応募資格と評価基準)

1. KINGCA week 2025 に演題登録していることを応募条件といたします。KINGCA week 2025 の演題募集は 6 月 20 日が締め切りで、採否判定のメールは 7 月 10 日までに届きます。発表者は 7 月 20 日までに参加登録が必要です。
2. 本助成金の締め切りは 8 月 4 日といたします。
3. 本制度は若手医師への助成を目的としておりますが、現時点では KINGCA week への参加を促すこともこの制度の重要な役割です。将来的には例えば「45 歳未満」などの制限を設けることになるかもしれませんが、今回はこれまでに KINGCA week からの招待を受けたことがない医師全員を対象といたします。ただし、応募多数の場合は年齢も考慮して審査させていただきます。
4. 施設見学が行われる場合にはこれを希望される医師を優先します。施設見学を希望される場合は、演題登録と同時に [Master Class](#) への応募が必要となります。(こちらも締め切りは 6 月 20 日)
5. 助成金の給付は学会参加が確認された後に行われます。

(応募方法)

参加補助を希望される方は、海外学会参加補助申込書と応募した抄録のプリントアウトを日本胃癌学会事務局（ jgca@koto.kpu-m.ac.jp ）宛にメールでお送りください。

給付が決定した場合には、日本胃癌学会事務局からご連絡させていただきます。
奮ってご応募ください。

一般社団法人日本胃癌学会

理 事 長 掛地 吉弘

国際委員長 竹内 裕也